

おだぶつ 御陀仏

ジブリ映画
の『平成狸合
戦ぽんぽこ』



ある対談で、
「オダブツ」を辞書で引きますと、死ぬこと・だめに
なること。おしまいになること、と出てきます。
このオダブツを漢字にしますと「御陀仏」となります。
阿弥陀仏の略称です。
平安時代、浄土教が隆盛を極めました。臨終に際し、
南無阿弥陀仏と称えれば極楽往生ができる。貴族から
武家、民衆にまで広まりました。このことから、「御陀仏」
に死ぬ意味があり、転じてだめになること、おしまいにな
ることとなったようです。
しかし、この臨終に重きを置いていた念仏を平生に置
いたのが親鸞聖人です。今この瞬間が、
すくいのお真つただ中と念仏を生き生き
としたものにされました。

ある対談で、
「オダブツ」を辞書で引きますと、死ぬこと・だめに
なること。おしまいになること、と出てきます。
このオダブツを漢字にしますと「御陀仏」となります。
阿弥陀仏の略称です。
平安時代、浄土教が隆盛を極めました。臨終に際し、
南無阿弥陀仏と称えれば極楽往生ができる。貴族から
武家、民衆にまで広まりました。このことから、「御陀仏」
に死ぬ意味があり、転じてだめになること、おしまいにな
ることとなったようです。
しかし、この臨終に重きを置いていた念仏を平生に置
いたのが親鸞聖人です。今この瞬間が、
すくいのお真つただ中と念仏を生き生き
としたものにされました。

ある対談で、
「オダブツ」を辞書で引きますと、死ぬこと・だめに
なること。おしまいになること、と出てきます。
このオダブツを漢字にしますと「御陀仏」となります。
阿弥陀仏の略称です。
平安時代、浄土教が隆盛を極めました。臨終に際し、
南無阿弥陀仏と称えれば極楽往生ができる。貴族から
武家、民衆にまで広まりました。このことから、「御陀仏」
に死ぬ意味があり、転じてだめになること、おしまいにな
ることとなったようです。
しかし、この臨終に重きを置いていた念仏を平生に置
いたのが親鸞聖人です。今この瞬間が、
すくいのお真つただ中と念仏を生き生き
としたものにされました。

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語
を紹介して
います。

おつこう 億劫

「億劫」、一般では「おつく
う」と読むことが多いでしょ
うか。元々は「おつこう」と



読み、きわめて長い時間を意味します。「劫」は、インドの
数の単位で、計り知れないものを人間の理解に合わせて様々
に比喻が作られました。一つの例えが、10kmの大きな岩に、
三年に一度天女が降りてきて、金剛の羽衣でひとなですること
を繰り返す、岩が摩擦で消滅した単位が「一劫」です。気
が長くなります。気が長くなることを考えることはインドの
人の得意分野ではないでしょうか。

「おつこう」と読みますと、気が進まないという意味にな
りますが、「おつこう」と読みますとはるかに長い時間の中
から稀なるものを得たという意味で、經典等で用いられる事
が多いです。

礼讃文という文の中に
無上甚深微妙の法は、百千万劫にももう遇うこと難し。



われ今見聞し受持することを得たり。
願わくは如来の真実義を解したてまつら
ん。
とあります。お東の法話では、みんな
三帰依文の後に唱和します。